

A M A K I

Questions & Answers

For junior high school students

天城高校の特色

▶「安心・満足・希望」を実現する天城高校を選んでください

天城高校は自信を持ってみなさん 「安心・満足・希望」を約束します。

安心その① 天城高校の「百年の伝統」

天城高校は1906年の創立以来、多くの生徒の夢を実現してきました。建学の精神「鉄軒精神」は、今も受け継がれています。

安心その② 市立中学校等出身者と天城中学校出身者が「互いに高めあえる環境」

様々な中学校出身者が同じクラスで学校生活を送り、多くの学校行事にもクラス単位で参加するので、互いに高めあい、クラスの団結が深まります。

本年度の入学生に対して行った「新入生アンケート」において、どちらの中学校出身者からも、学習面、学校生活の面、部活動においても、「とても楽しい」、「仲良くやれている」、「友達が増えた」、「いい刺激になる」など、非常に前向きな多くの声を聞くことができました。

安心その③ 1人ひとりが輝くために「進学型単位制カリキュラム」

単位制の採用により、個人にあった授業を選択できます。国語、数学、理科、英語において、**学習進度や習熟の程度に応じた授業**を行います。この中には多くの**少人数講座**があり、密度の濃い授業を受けることができます。

満足 1度きりの高校生活「学校満足度90%以上」 過去3年間平均・卒業生調べ

卒業生の学校満足度が90%を超えていました。部活動や行事が充実しているとともに、自分の夢をかなえることができる学校、それが天城高校です。

希望 「行ける学校」より「行くべき学校」を指導

生徒一人ひとりの個性や適性を見極め、目標とする将来像を見出すことによって「行くべき学校」を指導します。その結果、今春の大学入試では、高い成果を収めました。

2013.7

岡山県立倉敷天城高等学校

<http://www.amaki.okayama-c.ed.jp/>

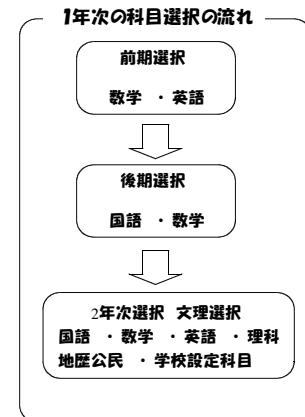
■ 普通科

Q1 天城高校の普通科の特色は何ですか。

A1 ほとんどの生徒が大学等への進学を目指し、**落ち着いた環境**の中で勉学に励んでいます。特に国公立大学進学希望者が多く、その希望が実現出来るように、**徹底した個人指導**が行われています。また、勉強と部活動の両立を目指す生徒が多く、部に所属し部活動を頑張った多くの生徒が難関大学を含めた国公立大学に合格するなど、**勉強と部活動の両立を実践**しています。

Q2 科目選択はどのようにになっていますか。

A2 単位制を導入することで**より幅広い選択が可能**になっているので、多様化する大学入試に柔軟に対応できます。普通科の場合、2年次以降の**類型(文系・理系)**を1年次に決定しますが、その類型選択に合わせて科目選択をします。2、3年次には自分の進路や大学入試科目に合わせて適切な科目を選択し、効率的な学習を行います。2学期制なので、**選択科目の中には学期ごとに変更できるものもあり**、例えば、受験に必要な科目を重点的に選択したり、苦手な科目を多く選択して補強するなど、**自分に適した学習が可能**です。また、天城高校では、大学入試に必要な科目は、**少人数でも開講**しています。



Q3 選択科目にはどのような特色がありますか。

A3 **学習ペース**を考えて選択する科目、**将来の大学入試**に必要なために選択する科目などがあります。例えば、体育・芸術系大学への進学を視野に入れた「スポーツⅠ」(体育)や「素描」(美術)など、特色ある科目も多数あります。

Q4 自分にあった科目選択や文理選択ができるでしょうか。

A4 1年次には、クラス担任との面談やAMAKI学(「総合的な学習の時間」)やホームルームの時間など、さまざま行事を通して、自分の興味・関心や適性を考えます。担任だけでなく、進路指導係の先生が生徒からの相談に応じ、最新の情報を提供します。2年次以降も、ホームルームの時間などで、進路学習や科目選択のガイダンスを何度も行います。**多くのモデルプランを見ながらクラス担任と十分な面談をする時間を設けています**ので安心してください。

Q5 普通科でも課題研究ができるでしょうか。

A5 2年次前期のAMAKI学で、課題研究を行っています。4~5人のグループで研究をします。研究といつても、理系的なものばかりではなく、文系的なもの(例:文学、歴史学、社会学、心理学など)もあり、自分の進路志望と興味・関心にあった課題を設定することができます。研究を通して、普段の授業では勉強できない希望進路への専門的な知識を得ることができます。

平成25年度の普通科課題研究のテーマ(例)

文系分野 大人が知らない若者の言葉 ヒールの及ぼす姿勢への影響 イギリスとアメリカの英語の違い
理系分野 手回し発電機による発電効率 ホットケーキのフワフワ比較 硬化による毛髪へのダメージ

■ 理数科

Q1 「理数科」は「普通科」と、どう違いますか。どのような生徒に向いていますか?

A1 理数科では**入学時より理系のカリキュラム**を組んでおり、コンピュータを使った授業や実験、校外での実習、生徒が主体的に取り組む**課題研究**などが質、量ともに充実しています。そのため**理科・数学の研究に強い興味・関心をもち、将来は理系の大学に進学することを、高校入学時から希望している生徒**に向いています。

Q2 課題研究基礎（1年次前期）・課題研究Ⅰ（1年次後期、2年次前期）とは何ですか。

A2 課題研究基礎は自然科学や科学技術に関する身近なテーマから最先端の研究まで、様々な分野について「課題発見型実験プログラム」「ラボ講座」「まとめ学習」を展開し、科学的な自然観を身につけていきます。課題研究Ⅰは、**数学や理科の各分野から自分たちで主体的にテーマを選び、1年間かけて研究し、その成果を発表**します。充実した機器・設備を使って、自分の興味のある分野を時間をかけて深く探究することができます。10～15名の指導教員と、**岡山大学との連携**による大学生、大学院生、留学生などの協力を得ながら、少人数のグループに分かれて研究に取り組んでいます。

Q3 大学進学に有利ですか。

A3 例えば、国公立大学の理系学部の入試では理科・数学の配点が大きく、理科・数学が得意な人ほど有利になっています。さらに小論文や面接を重視する大学が最近増えています。理数科での実験・実習・課題研究などを通して学んだ**深い知識や研究の実績は大学入試に直結**しており、推薦入試やAO入試では特に大きな成果を上げています。単位制であるため理数科も科目選択の幅が広がり、国語・数学・英語の3教科を重視した選択も可能になります。東京大学・京都大学など**難関大学の理系学部の入試に対応できます**。

課題研究のテーマ例	
【物理分野】	マイクロ波の干渉による光速の測定 風メガホンによる風力発電 水の流体抵抗の測定方法
【化学分野】	炭酸カルシウムの溶解度 炭の吸着能力 昆布に含まれる旨み成分 エチレングリコールの酸化
【生物分野】	リョクトウ芽生えの成長と負荷
【数学分野】	数学的手法を用いた高校生向けエゴグラムテストの開発
理数科校外研修の活動内容	
蒜山の自然とテクノロジーに関して体験を通して学び、プレゼンテーションにまとめて発表します。 ・蒜山の植生調査 ・岡山大学地球物質科学研究センター（講演会、高圧実験、施設見学）など	

■ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

Q1 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）とは何ですか？

A1 将来の国際的な科学技術系の人材の育成を図るために、文部科学省が指定した学校のことです。天城高校では平成17年度に初めて指定を受け、平成22年度からさらに5年間の指定を受けています。多額の教育予算のもと、従来は行えなかった水準の高い実験、体験活動、科学研究者による講演など、充実した学習活動を行っています。これまでの取り組みにより、多くの人材が育ち、大学へ進学しています。

Q2 国際交流について教えてください。

A2 2年次に姉妹校である**米国バースト一校への短期研修**を行っています。これは科学交流を目的とした事業であり、事前に英会話や英語のプレゼンテーションの研修もあり、非常に有意義な行事です。対象は、科学交流を目的とするのならば、普通科・文系でも参加が可能です。また、姉妹校の来校など、天城高校ならではの国際交流の体験をする機会に恵まれています。

Q3 他にもSSH行事はありますか？

A3 毎年数回、**スーパーサイエンスセミナー**を開催しています。これは科学技術への興味・関心を高めるための行事であり、外部の施設の見学や、外部講師による講演会などを行っています。平成24年度は、スーパーコンピューター「京」・SPRING-8の見学会を行いました。平成25年度は、ノーベル化学賞を受賞した鈴木章先生による講演会に参加しました。他にも、ロボット実習講座、相対性理論の講演会を企画しています。**普通科・理数科とも興味・関心がある生徒ならば、だれでも参加できます。**

■ 学校生活・行事

Q1 部活動は盛んですか。また、勉強と部活動は両立できますか。

A1 天城高校では、どの部も活発に活動しています。平成25年度は、運動部ではアーチェリー部と弓道部が3年連続で全国大会に、他にも卓球部・ハンドボール部・テニス部・水泳部が中国大会に出場しています。また、文化部では美術部が全国大会に出場します。

天城高校には「**勉強と部活動の両立**」をモットーに、集中力を高め、時間を有効に使って充実した高校生活を送っている生徒が大勢います。毎年、国公立大学合格者の多くが部活動に積極的に参加しており、難関大学にも多数合格しています。

Q2 天城高校の体育施設は充実していますか。

A2 天城高校の広さは東京ドームの約1.5倍で、複数の運動場、2つの体育館があり、県下有数の体育施設を誇っています。また、最新マシンを備えたトレーニング室も整備され、多くの生徒が体育の授業や部活動で利用しています。

Q3 学習環境について教えてください。

A3 平成19年春に完成した**新校舎**は特別教室なども含めてすべて**冷暖房完備**はもちろんのこと、各HR教室にも**ビデオプロジェクタ**が設置されるなど**学習の環境は万全です**。オープンスクールなどでぜひ実感してください。

Q4 修学旅行について教えてください。

A4 天城高校の修学旅行は、**生徒にアンケート**をとりながら、より充実した魅力あるものをめざしています。平成25年度は**沖縄県宮古島**での実施となりました。平成26年度は**東北・北海道**へ行くことが決定しています。

Q1 入試制度はどうなっていますか。

A1 昨年度の募集人員は募集定員から天城中学校からの進学者を除いた数で、普通科104人、理数科23人の合計127人でした。

平成25年2月に実施された自己推薦による入学者選抜では、普通科の募集人員の20%の20人、理数科の募集人員の100%の23人を募集し、普通科では20人、理数科では20人を合格内定者としました。

3月の一般入学者選抜では、自己推薦による入試の合格内定者を除いた人数の普通科94人・理数科3人をくぐり募集しました。

平成26年度の入学者選抜では自己推薦による入学者選抜は廃止され、普通科は3月の一般入学者選抜のみとなります。理数科は2月の特別入学者選抜を行い、募集人員の100%を募集します。なお、特別入学者選抜では、学力検査(国語・数学・英語)、面接に加えて、口頭試問(実験を含む)が行われます。特別入学者選抜についての詳しい情報は、学校説明会などでお知らせします。

■ 平成25年度年間行事(予定)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
入学式、部紹介 集団宿泊研修(1年) 春季球技大会	生徒総会 地区総体 社会貢献活動	県総体 東雲祭(体育の部) 授業公開 修学旅行(2年)	三者面談 第1回オープンスクール	学習セミナー(全年) 理数科校外研修(1年)	東雲祭(文化の部) バースト校短期研修 課題研究発表会(普通科) 第2回オープンスクール
10月	11月	12月	1月	2月	3月
創立記念日 芸術鑑賞会 課題研究発表会(理数科) 社会貢献活動	運動部合同トレーニング	冬季球技大会 三者面談 課題研究発表会(理数科)	百人一首大会 スキーノボル教室	特別入学者選抜(理数科)	卒業式 一般入学者選抜 合格者発表

OPEN SCHOOL DAY 2013

[第1回] 7月29日(月) [第2回] 9月28日(土)

オープンスクールや倉敷天城高校についてのお問い合わせは、総務課までお願いします。

▶ 電話: 086(428)1251 ▶ Eメール: amaki@pref.okayama.jp